

令和8年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	英語	学年	1年
----	----	----	----

1 学習の目的

<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようになる。 2. 簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようになる。 3. 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようになる。 4. 関心のある事柄や体験について、簡単な語句や文を用いて話すことができるようになる。 5. 関心のある事柄や体験について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようになる。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	be 動詞、一般動詞、助動詞 can、 疑問詞 what、 who、 how、 where、 when、 how many、名詞 の複数形、命令文	自分が好きなことや日常的にしていることについて 発表したり、身近な人や物についてたずねたり、答えたり することができる。
2 学期	三人称現在単数形、許可・依頼、 代名詞、疑問詞 which、 whose 現在進行形、感嘆文、不定詞 look + 形容詞 道順の尋ね方、教え方	自分や相手以外の人について情報を聞き取ったり、 読み取ったり、たずねたり、答えたり、文を書いたりするこ とができる。
3 学期	一般動詞の過去形 be 動詞の過去形 There is [are]… 過去進行形	過去の出来事について情報を聞き取ったり、 読み取ったり、たずねたり、答えたり、文を書いたりするこ とができる。

3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	学習している文法事項の文の形、用法を理 解し、必要な情報を理解したり伝えたりする 技能を身に付けているか。	・定期試験 ・単元テスト ・パフォーマンステスト
思考・判断・表現	コミュニケーションの相手や場面に応じて、 概要をとらえたり、自分の考えを表現したり しているか。	・定期試験 ・単元テスト ・パフォーマンステスト
主体的に 学習に取り組む態度	コミュニケーションの相手や場面に応じて、 概要をとらえたり、自分の考えを表現したり しているか。	・定期試験 ・行動観察 ・単元テスト ・パフォーマンステスト

4 「確かな学力」のためのアドバイス

1. 英語科の学習について
英語の能力を高めるためには、学校で行う週4時間の学習だけでは不十分です。ノート、ワークを用いた予習、復習を欠かさず行い、学習内容を深め定着させる努力を、継続的に行いましょう。
2. 授業のきまり
学習の目的を達成するための学習活動に積極的に参加するとともに、クラスメートと行うコミュニケーション能力育成のための言語活動に、前向きな気持ちで取り組みましょう。
3. 授業で使う道具
・教科書 ・ノート ・ワーク ・ファイル ・ポイントカード ・タブレット ・(必要に応じて)辞書
4. 授業中の少人数学習
学習内容や身に付けたい技能、領域に応じて、個人での活動、2人組のペアワーク、4人組や6人組のグループワーク、クラス全体での発音練習、個別に相手を見つけるインタビュー活動などを行います。
5. 家庭学習
学校で学習した内容だけでなく、各自興味関心のあるものを英語でどのように表現するかアンテナを高くもつことが大切です。

6. TESOLに基づいた授業

TESOLとは・・・Teaching English to Speaker of Other Languages の略

グローバルな社会で生きていく国際人として必要な英語力を養います。

仲間がいるからできるレッスン、教科書の内容を超えるインプットとアウトプットを目指します。

英語を学ぶのではなく、英語を使って学ぶ機会を増やします。

(例:ポスター、パンフレットづくり、日本語に訳さないリーディングやスピーキング、プレゼン、オンラインで外国人の先生と会話をするオンラインブレンディッドなど)

令和8年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	英語	学年	2年
----	----	----	----

1 学習の目的

1. 日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようになる。
2. 簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようになる。
3. 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようになる。
4. 関心のある事柄や体験について、簡単な語句や文を用いて話すことができるようになる。
5. 関心のある事柄や体験について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようになる。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	・There is/are… ・未来表現 ・SVOO ・SVOC ・接続詞 when, if, that・不定詞	自分やクラスメートの予定や将来の夢などについて、情報を聞き取ったり、読み取ったり、たずねたり、答えたり、意見や理由を加えて発表したり、文を書いたりすることができる。
2 学期	・助動詞 ・動名詞 ・疑問詞+to 不定詞 ・比較表現	クラスで人気のあるものなどについて、情報を聞き取ったり、読み取ったり、たずねたり、答えたり、意見や理由を加えて発表したり、文を書いたりすることができる。
3 学期	・受動態	自分やクラスメートのおすすめの場所などについて、情報を聞き取ったり、読み取ったり、たずねたり、答えたり、意見や理由を加えて発表したり、文を書いたりすることができる。

3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	学習している文法事項の文の形、意味、用法を理解し、必要な情報を理解したり伝えたりする技能を身に付けているか。	・定期試験 ・単元テスト ・パフォーマンステスト
思考・判断・表現	コミュニケーションの相手や場面に応じて、概要を捉えたり、自分の考えを表現したりしているか。	・定期試験 ・単元テスト ・パフォーマンステスト
主体的に 学習に取り組む態度	適切にコミュニケーションを図り、基礎的な知識や4技能5領域を身に付け、活用しようとしているか。	・定期試験 ・行動観察 ・単元テスト ・パフォーマンステスト

4 「確かな学力」のためのアドバイス

1. 英語科の学習について
英語の能力を高めるためには、学校で行う週4時間の学習だけでは不十分です。ノート、ワークを用いた予習、復習を欠かさず行い、学習内容を深め定着させる努力を、継続的に行いましょう。
2. 授業のきまり
学習の目的を達成するための学習活動に積極的に参加するとともに、クラスメートと行うコミュニケーション能力育成のための言語活動に、前向きな気持ちで取り組みましょう。
3. 授業で使う道具
・教科書 ・ノート ・ワーク ・ファイル ・ポイントカード ・タブレット ・(必要に応じて)辞書
4. 授業中の少人数学習
学習内容や身に付けたい技能、領域に応じて、個人での活動、2人組のペアワーク、4人組や6人組のグループワーク、クラス全体での発音練習、個別に相手を見つけるインタビュー活動などを行います。
5. 家庭学習
学校で学習した内容だけでなく、各自興味関心のあるものを英語でどのように表現するかアンテナを高くもつことが大切です。

5 TESOLに基づいた授業

TESOLとは・・・Teaching English to Speaker of Other Languages の略

グローバルな社会で生きていく国際人として必要な英語力を養います。

仲間がいるからできるレッスン、教科書の内容を超えるインプットとアウトプット、これまでの授業よりも英語を使う量が増えます。

英語を学ぶのではなく、英語を使って学ぶ機会を増やします。

(例:ポスター、パンフレットづくり、日本語に訳さないリーディングやスピーキング、プレゼン、オンラインで外国人の先生と会話をするオンラインブレンディッドなど)

令和8年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	英語科	学年	3年
----	-----	----	----

1 学習の目的

1. 日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようになる。
2. 簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようになる。
3. 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようになる。
4. 関心のある事柄や体験について、簡単な語句や文を用いて話すことができるようになる。
5. 関心のある事柄や体験について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようになる。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	現在完了形、現在完了進行形 不定詞をつかった構文	クラスメートの経験などについて、概要を理解したり、読み取ったり、たずねたり答えたり、話したり、まとまりのある文章を書いたりすることができる。
2 学期	名詞を修飾する文と、関係代名詞 who、that [which](主格・目的格) 後置修飾 仮定法	日本や海外の文化について、理解したり、読み取ったり、理解を深めたり、紹介したり、文章構成を意識した文を書いたりすることができる。
3 学期	3年間の総復習 探究学習(3学年交流)	社会的な話題について、理解したり、要点をとらえたり、意見を述べながら話し合ったり、意見を発表したり、書いたりすることができる。

3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	学習している文法事項の文の形、意味、用法を理解し、必要な情報を理解したり伝えたりする技能を身に付けているか。	・定期試験 ・単元テスト ・パフォーマンステスト
思考・判断・表現	コミュニケーションの相手や場面に応じて、概要を捉えたり、自分の考えを表現したりしているか。	・定期試験 ・単元テスト ・パフォーマンステスト
主体的に 学習に取り組む態度	適切にコミュニケーションを図り、基礎的な知識や4技能5領域を身に付け、活用しようとしているか。	・定期試験 ・単元テスト ・パフォーマンステスト ・行動観察

4 「確かな学力」のためのアドバイス

6. 英語科の学習について
英語の能力を高めるためには、学校で行う週4時間の学習だけでは不十分です。ノート、ワークを用いた予習、復習を欠かさず行い、学習内容を深め定着させる努力を、継続的に行いましょう。
7. 授業のきまり
学習の目的を達成するための学習活動に積極的に参加するとともに、クラスメートと行うコミュニケーション能力育成のための言語活動に、前向きな気持ちで取り組みましょう。
8. 授業で使う道具
・教科書 ・ノート ・ワーク ・ファイル ・ポイントカード ・タブレット ・(必要に応じて)辞書
9. 授業中の少人数学習
学習内容や身に付けたい技能、領域に応じて、個人での活動、2人組のペアワーク、4人組や6人組のグループワーク、クラス全体での発音練習、個別に相手を見つけるインタビュー活動などを行います。
10. 家庭学習
学校で学習した内容だけでなく、各自興味関心のあるものを英語でどのように表現するかアンテナを高くもつことが大切です。

5. TESOLに基づいた授業

TESOLとは・・・Teaching English to Speaker of Other Languages の略

グローバルな社会で生きていく国際人として必要な英語力を養います。

仲間がいるからできるレッスン、教科書の内容を超えるインプットとアウトプットを目指します。

英語を学ぶのではなく、英語を使って学ぶ機会を増やします。

(例:ポスター、パンフレットづくり、日本語に訳さないリーディングやスピーキング、プレゼン、オンラインで外国人の先生と会話をするオンラインブレンディッドなど)